

町なみ飛騨高山

9号



町並みの景観における 行政・住民・企業の共

高山水の魅力であり資産である古い町並みと、そこに暮らす住民、そこを訪れる人が合理性・利便性を求める上で不可欠なエネルギー・水・交通・情報といったライフラインや商店や事業所の共存は、景観という観点からすると、それほど容易ではありません。

ここ数年、町並みの景観と
がいくつも行われています。
NTTの鉄塔撤去工事・十
六銀行高山支店の屋上看板撤
去工事・高山市下二之町大新
町伝統的建造物群保存地区の
無電柱化工事・安川交番の改
築工事・匠館の改築工事など
です。

そして去る4月11日、十六
銀行の高山支店・高山駅前支
店（店舗内店舗方式）が新築
オーブンしました。

駐車場やトイレは、人目につき易く、容易に見つけることが出来なくては不便です。

・改設)に際しては、事前に所有者や施工主と近隣の保存会や商店会・住民が、「高さ・大きさ・形・色・素材などにおける古い町並みの景観との調和」について、綿密な意見交換を行うことが求められます。

本誌を発行しております広報部会が所属する高山市景観町並保存連合会も、この度の十六銀行の改築に際して、会長名で意見書を提出しました。

【要望】近代的な外観になりすぎないよう、ご配慮をお願いします。

【回答】ガラスの傾斜を緩くし、通りからの見え方としてアーケードに被る範囲を多くし、ガラスの存在感を緩和します。

(一部抜粋)
その他にも、計画されてい
た片流れ形状の屋根が、高山
の町家の特徴である切妻風の
形状に変更され、西面・東面
に表示予定だった十六銀行の
マークが廃止、正面の十六銀
行の表示は建物内部の表示に
変更されました。

【回答】近隣の景観保存会の立合いのもと確認を行います。

【要望】夜間の照明は提灯をイメージされていることでしたが、照度や光色については周辺の照明との調和にご配慮をお願いします。

〔要望〕設置予定の格子や塀は、一般の町家のものと比べるとサイズが大きいため、周囲とのスケール感に違和感がないような工夫をお願いします。



改築後の店舗



老朽化した改築前の店舗

お寄せいただきましたご意見などは、編集して本誌等で紹介させていただくことがあります

新しく指定した景観重要建造物

＜指定番号8号＞ ○五みそや（まるごみそや）／馬場町2丁目（えび坂上）
大正前期に建築された 味噌醤油の小売店



▶ 特徴と指定理由

2階の階高を抑え、開口部には格子をあしらうなど、高山の町家の特徴を色濃く残している。

歴史ある味噌醤油店として、市内外の人々に親しまれ、古い町並～東山寺院群～高山城跡へとつながる周遊ルート上の見所として良好な景観を形成している。

＜指定番号9号＞ 朝日軒（あさひけん）／天満町6丁目（高山駅近く）
昭和27年に建築された 理容店



▶ 特徴と指定理由

寄棟造（よせむねづくり）の店舗付住宅。1階店舗部分はモダンな白壁造り、2階は和風。

昭和9年に高山駅が開業すると川西地区の市街化が始まり、新たな建築様式の建築物が建てられた。高山駅～古い町並へと続く導線上の見所として良好な景観を形成している。

＜指定番号10号＞ 山長商店（やまちょうしょうてん）／大門町（空町地区）
明治中期に建てられた 町家



▶ 特徴と指定理由

2階の階高を抑え、開口部には格子をあしらうなど、高山の町家の特徴を色濃く残している。

重厚感を伝える貴重な建築物であると共に、空町地域の一角で昔ながらの生鮮食品店を営み、良好な景観を形成している。

＜指定番号11号＞ 旧春日堂（きゅう かすがどう）／本町2丁目（宮川 笹橋たもと）
昭和9年に建てられた 洋風建築



▶ 特徴と指定理由

本町通りが商店街として形成された頃に建てられた洋風店舗建築。

モルタル洗い出し外壁・華やかな装飾が施された隅柱・コーニス・屋上のパラペット・縦型の窓など、当時数多く建てられた洋風建築の一つで、良好な景観を形成している。

＜指定番号12号＞ 雨音（あまね）／総和町2丁目（西小学校正門前）
大正後期に建てられた 木造住宅



▶ 特徴と指定理由

民家としては建築規模が大きく、入母屋造の屋根を備えた格式高い構造となっている。

東面に建てられた板塀と一体となって、まちのランドマークとなっており、良好な景観を形成している。